

主な内容	
6月定例会のあらまし	1
一般質問議員と項目	1
一般質問と答弁	2
主な質疑	3
議会の動き	3
7月臨時会	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

2011 No.22

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114



山あげ祭 当番町：仲町 (7月22・23・24日)

6月定例会が6月7日(火)に招集され、6月14日(火)までの8日間の会期で行われました。提出された議案はすべて原案のとおり可決されました。その議案は次のとおりです。

※なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第70号」をご覧ください。

一般質問議員と項目

- ・平成23年度那須烏山市一般会計補正予算(第2号)
- ・平成23年度那須烏山市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成23年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第2号)
- ・那須烏山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・那須烏山市税条例の一部改正
- ・那須烏山市災害弔慰金支給等条例の一部改正
- ・人権擁護委員候補者の推薦
- ・栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更
- ・栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更



板橋 邦夫 議員

- 1 防災行政について
- 2 EV車(電気自動車)の購入について
- 3 児童生徒の交通安全対策について



中山 五男 議員

- 1 東日本大震災の対応について
- 2 人事管理について



渡辺 健寿 議員

- 1 東日本大震災の復興対策について
- 2 農林水産特産物開発事業の取り組みについて(フードバレー構想関連)
- 3 橋梁長寿命化修繕計画策定について



佐藤 雄次郎 議員

- 1 防災対策について(東日本大震災の対応と今後の市の施策について)
- 2 こぶし台団地の1期地区への進入路について
- 3 明るく安全な里山林整備事業について



田島 信二 議員

- 1 学校及び公的施設の浄化槽安全対策について
- 2 代替定期バスについて



川俣 純子 議員

- 1 震災による学校施設の修復状況について
- 2 防災訓練について
- 3 那須南病院について



樋山 隆四郎 議員

- 1 自然災害の対応について
- 2 行政改革について



平塚 英教 議員

- 1 東日本大震災の本市の被害状況と復興対策について
- 2 原発事故、放射線による被害対策について
- 3 自然エネルギーの開発と節電について
- 4 市税の収納対策について
- 5 那須南病院と地域医療の充実について
- 6 教科書選定について



渋井 由放 議員

- 1 ホームページについて
- 2 那須烏山市表彰条例の運用について
- 3 一般廃棄物の収集等の考え方について

※赤字になってる項目は、本紙2ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

平成23年6月定例会
一般質問から
 ※質問・答弁の内容は要約してあります。
 詳しくは議会事務局(TEL0287-88-7114)までおたずねください。

地域防災計画の見直しによる安心、安全な街づくりを

板橋邦夫議員

(問) この度の東日本大災害を契機として防災まちづくり事業をどのように進めていく考えであるか伺う。

◎市長 総務課内に危機管理室を設置し、従来の地震風水害の他、原発災害を想定した独自の危機管理マニュアルを策定、更に地域防災計画を抜本的に見直しに行く所存である。

(問) 児童、生徒の登下校における交通事故が多発している。通学路の見直しや安全施設等の検討が必要と思われるが教育長の考えを伺う。

◎教育長 学校には常時道路環境の変化に伴う通学路の見直しや、安全を図るため再点検を指示している。また、教育委員会と連携を図り児童生徒の安全確保に万全を期す考えである。

震災による被害額と放射能対策を伺う

中山五男議員

(問) 今回の震災は未曾有の大災害であり、市は被害の全容を調査し、本市の震災記録として留めると同時に、被災者への生活再建支援や今後の震災対策の研究資料にすべきでないか。

◎市長 市内の損害額は個人財産や公共施設等合わせて72億9,500万円。この他商工業関係や農協・JRの被害額は調査中であり、近く全容を明らかにしたい。

(問) 震災の後、危機的状況にある福島原発事故は今も状況が刻々と変わりつつある。

◎市長 不安解消のため、市独自で測定器を購入した。測定結果は防災無線等で速やかに公表している。

小中学校の再編計画について

渡辺健寿議員

(問) 小中学校の耐震化及び空調設備対策等が計画されているが、児童生徒数の減少に伴ない複数学級の確保・スポーツ部活動の活性化を教育基本としているなかで統合再編が必要と思われるが、災害復旧を含め大きな設備投資を控えその考えがあるか伺う。

◎市長 次代を担う子供が適正規模の学習集団で教育を受ける教育効果、学校運営を重要な課題と認識している。市内の小中学校の適正なあり方を協議するため、年度内に検討機関を設け調査検討する。

(問) 震災対策でガレキの処理負担を軽減するため利用可能な大谷石を市民に再利用してもらってはどうか。

◎環境課長 土留め、敷石として利用希望者に配布する。

こぶし台団地の進入路について

佐藤雄次郎議員

(問) こぶし台団地は、総区画数219、戸数は1期103戸、2期72戸、住民500人余の団地である。震災により1期内の道路が陥没し、1ヶ月間交通不能になった。緊急時及び通勤・通学に備えるため県道と結ぶ道路は重要不可欠であると思うが市長の考えを伺う。

◎市長 こぶし台団地は、市で最大の団地である。1期への進入路の確保は団地住民の長年の要望であることは強く認識している。今後の課題として、県道接続部分の関係機関との協議や団地内道路の通行量の増加、騒音等が懸念されることから、これらを踏まえた自治会内の合意形成が大前提である。

◎市長 4月より代替定期バスが運行している。上り線は七合小学校の授業に間に合わない。児童は立ち乗車で大変危険である。スクールバス利用の児童と同様な待遇にしたい。又来年度には七合中学校から烏山中学校へ生徒が通学する。終点は学校までとして欲しい。

代替定期バスについて

田島信一議員

◎市長 馬頭烏山線は那須烏山市と那珂川町が協議し延長距離が長く、県の補助制度上有利である那珂川町に事務局を置き、現在45人乗りのバス運行をしているが朝の通学時間帯は乗客が多く途中から乗る小学生が立ったまま乗車している。不測の事態を考慮すれば何らかの対策が必要である。

那須烏山市の自治基本条例について

樋山隆四郎議員

(問) ひかり輝くまちづくりプラン。那須烏山市総合計画中の前期基本計画では23年度までに、自治基本方針と策定委員会の設置、策定委員会開催、条文の作成、予算230万円とあるが、現在の進捗状況を伺う。

◎市長 自治基本条例は地方分権一括法の施行により

望し心配を払拭できる様努力したい。

那須南病院について

川俣純子議員

(問) 那須南病院に産婦人科ではなく婦人科の設置を要望する。婦人科であれば手術室、分娩室、新生児室などの施設もいらぬ。また、子宮がん検診、不妊治療によるホルモン注射、更年期の治療、思春期外来と地元での需要が高い。

◎市長 昭和57年の南那須地区公的総合病院マスタープランにおいて、産婦人科の計画はあったが、平成2年の開院の際には産婦人科の設置はなかった。現在、県内の大学病院においても産婦人科医の確保に苦慮している。また、看護師などのスタッフの確保、資金、施設面でも多くの課題があるが、広域行政事務組合においても設置について検討していく。

震災復旧と本市行財政運営について

平塚英教議員

(問) 東日本大震災による本市の被災復旧に補正予算等で当面の緊急対策を図ったが、今後の本市復興に向けた中長期的対策が求められる。今回の震災による本年度の当初予算執行についての影響と、本市総合計画や行財政改革アクションプラン、市防災計画、合併特例債発行等への計画見直しの方向について伺いたい。

◎市長 震災後の予算執行は災害復旧、支援対策を重点に総額15億円を越える補正予算を組んで対応している。一方、当初予算中、単独事業や総合計画後期計画の策定延期、都市再生ビジョンの見直し等、一般財源2億3千万円を凍結した。今後は地域防災計画、危機管理マニュアルを策定し、総合計画後期計画、行財政改革アクションプラン策定の基本としたい。

一般廃棄物の収集等の考え方について

渋井由放議員

(問) 平成23年4月に一般廃棄物処理基本条例が策定されごみ袋の値上げ等の方向性が盛り込まれた。市民への説明は十分有用性を説明する。値上げはごみの縮減を願うものである。

◎環境課長 十分に有用性を説明する。値上げはごみの縮減を願うものである。

(問) 収集運搬の契約が今年度まで1年であったが今年度から5年になった理由は。

◎環境課長 他の市町や業者の特殊車両の投資などを総合的に判断して5年とした。



購入した測定器



被害があった市内の住宅団地

主な質疑

平成22年度 一般会計繰越明許費 繰越計算書

議員 平成23年度に繰り越されたもので、いまだ完了していない事業はどのくらいあるのか。
各担当課長 LEDの防犯灯の設置事業は未着手。多機能型福祉施設整備事業は設計業務に着手。商品券発行支援事業は7月2日に発行予定。道路整



工事中の山あげ会館



わくわく商品券

備事業は5路線について現在進行中。小中学校関連事業は一部着手、一部未着手。長者ヶ平官衛遺跡保存事業は執行中。図書購入も現在執行中。烏山野球場の施設整備は河川区域内の工事のため6月から10月まで工事の着手ができない。サンライズ国見の改修事業は、わらび荘が被害を受け業務を廃止する予定である。したがって改修事業は凍結する。山あげ会館の復旧事業は工事実施中で、山あげ祭りまでには完成予定。

についても、この条例が適用されるのか。
総務課長 原則4月で切っているが、経験や技術の関係で引き続きお願いしている人もいる。そういう人は該当する。

那須烏山市税条例の 一部改正

議員 災害支援制度の一斉受付で罹災証明書を発行された人が該当になり、受付をしなかった人は漏れてしまうのか。
税務課長 この一部改正は支援制度と別に考えても

専決処分の報告

議員 市職員運転の公用車が停止中の車に接触し損害を与えた。市はどのような交通事故対策や指導をしているのか。
副市長 徹底的に交通安全教育をしようとした矢先であり、職員に注意喚起し早急に事故の処罰規定を制定したい。

那須烏山市職員の育児 休業等に関する条例の 一部改正

議員 毎年、1年契約で更新された非常勤職員に

6月定例会に上程された議案の審議の中で、議員の質疑の中から主なものを要約して掲載しています。

那須烏山市災害弔慰金 支給等条例の一部改正

議員 貸付業務や相談はいつごろ開始をし、どのような方法で周知を図るのか。
健康福祉課長 災害支援制度の受付と一緒に始めている。現在4件の相談がある。平成30年まで申込みできる。

議員 使用道に限定があるのか。
健康福祉課長 特別な決まりはないが、但し所得制限がある。



申請受付の様子



平成23年度 那須烏山市一般会計 補正予算

議員 こぶしヶ丘温泉系統試験調査費を計上しているが、再度復旧を見込んでいるのか。
議員 再度復旧を見込んでいるが、再度復旧を見込んでいるのか。

商工観光課長 23万3千円を予算計上した。源泉が今回の震災でどうなっているのか、現在の温泉の原水の状態を調査したい。



被害を受けたこぶし温泉

が、今後の見通しはどうなっているか。
学校教育課長 7月中旬に発注をし11月末をめどに設計業務を完了したい。



被災した南那須学校給食センター

議員 現在、烏山中学校の耐震改築工事が行われている。その工事に合わせて6,000万円の空調設備工事が一般競争入札ではなく随意契約で決定しているが、どうして随意なのか。
副市長 耐震工事は年次計画で文部科学省の許可であり、2年継続実施している。空調工事は昨年の猛暑の影響により国の緊急経済対策で行っている。当時はそういうことを想定していなかった。工程管理、工事費を考えると同じ業者の方がスムーズに行えると考え随意契約に決定した。

議員 給食センターの設計業務に入るとのことだ

議員 入浴券の交付事業は震災で温泉施設が使えない。一時中断してはどうか。
市長 他市町や高齢者福祉のあり方も総合的に勘案していく。温泉入浴券は再検討していく。

議員 今回の震災で南那須地区の防災無線は全然機能しなかった。今後どのようにするのか。
総務課長 今回の震災で電力の確保ができなかった、通信の確保ができなかったことは大きな反省点と考えている。電源の確保は発電機を用意した。危機管理マニュアルの中で通信のあり方、情報収集と発信を確保し指令と指示ができるように取り組んでいく。

議会の動き

平成23年4月

26日(火)第3回臨時会
30日(土)議会だより第21号発行

5月

31日(火)議員全員協議会

6月

7日(火)第4回定例会
(6月14日まで)
10日(金)文教福祉常任委員会
13日(月)経済建設常任委員会
14日(火)議員全員協議会
議会広報委員会

7月

13日(水)議会運営委員会
議員全員協議会
15日(金)第5回臨時会
議員全員協議会
19日(火)文教福祉常任委員会(教育委員会委員等との意見交換)
21日(木)議会広報委員会
25日(月)行財政改革特別委員会



7月臨時議会

7月臨時議会が7月15日(金)に招集され、提出された議案はすべて原案のとおり可決されました。その議案は次のとおりです。

- ・烏山小学校校舎(南舎・北舎)改修工事請負契約の締結について
- ・平成23年度那須烏山市一般会計補正予算(第3号)について
- ・平成23年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
- ・平成23年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第3号)について

教育委員会委員との意見交換

7月19日、南那須庁舎大会議室において、文教福祉常任委員会(渡辺健寿委員長)委員と教育委員会(塩野榮司委員長)委員による意見交換会が開催されました。

この日は両委員長のあいさつの後、渡辺委員長が座長となり「学校再編について」「学校給食について」など多岐に亘り活発な意見交換が行われました。

両委員長は「いろいろと意見交換ができ一定の成果があった。今後の委員会運営及び学校教育に役立てたい」と相互に確認しました。



懇談会の様子

中学生が模擬議会

6月24日(金)、南那須庁舎の議場において、烏山中学校3年生の生徒を対象に、市の出前講座「議会ってどんなことをしているの」を行いました。

クラスごとに議場に入場した生徒は、議長席や議員席、市の執行部席に着くと、最初は緊張した面持ちでしたが、事務局職員から講義を受けるとその緊張もやわらいだのか、積極的に質問する生徒もいました。講義の後、事務局で用意した質問書と答弁書を使って簡単な模擬議会を体験。本番さながらの議事進行に「将来の議員候補だね」と議会関係者から声をかけられる生徒もいました。



講義を受ける中学生

烏山線利用向上対策特別委員会

山あげ祭り開催中の7月23日、烏山線利用向上対策特別委員会(中山五男委員長)の呼びかけにより、市議会議員が烏山駅前集合し、烏山線を利用して観光に來られた人たちをお出迎えしました。

中山委員長は「このような地道な活動が烏山線の利向上に繋がればと思う」と話しました。



烏山駅前に集合した市議会議員

9月定例議会は、9月6日(火)開会予定です。

※正式な日程は、8月30日に開催される議会運営委員会で決定されます。

6月議会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
6月7日(火)	開会・上程・採決・付託	6人
6月8日(水)	一般質問	13人
6月9日(木)	一般質問	33人
6月10日(金)	一般質問	18人
6月14日(火)	報告・採決・閉会	3人
計		73人

議会を傍聴してみませんか



議会を傍聴することは、市政を知る最も良い方法です。くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

ライブ中継 放映中!
議場に足を運ぶ余裕のない方のために、会期中、議会のライブ中継を放映しています。放映場所は、烏山庁舎玄関ホールと南那須庁舎玄関ホールです。ぜひご覧ください。

那須烏山市議会では、夏季期間中「クールビズ」を推奨しています。

那須烏山市議会は、公職選挙法の趣旨を踏まえ、初盆のごあいさつをご遠慮させていただきます。

あとかき

わが市では東日本震災の後、はじめての市議会一般質問のため、質問者9名中8名が震災についての質問でした。

主な内容は、震災後の市の対応、被災者への支援、原発事故による放射線の対策や今後の防災に対する方針、農産物の風評被害への対策などでした。

今、国民は福島第一原発事故により、節電という課題を一人ひとりにあたえられています。しかし、これを契機に、節電ではなく、自然の恵みを感じる生活に変えていく時期がきたのではと思っています。風鈴・朝顔・打ち水・扇子・花火・浴衣など日本には涼しさを醸し出す生活文化があります。

扇風機・エアコンを使う時間を少し減らして過ごし、夜は星を眺め、家族で過ごす時間を増やせたとプラス思考でいきましょう。身体と生活が慣れるまでは、でも大変かな。(川俣純子記)

